

国家プロジェクト

目指せ棟梁!



教室講義と現場修業



大工育成塾

国土交通省が応援します。

住宅地から美しいたずまいが失われ、シックハウス症候群などの新たな問題が発生し、プライバシーを過度に重視する住まいのありようが様々な社会問題を誘発する中、木や土等の自然素材で作られる伝統的な木造建築への関心が高まっています。伝統木造建築の持つ端正で均整のとれた美しさ、開放性、可変性、柔らかさ、暖かみといった特質が見直されつつあります。しかし木造伝統構法の担い手である大工技能者を見ると、新規参入者の減少により高度な技術・技能の継承が困難になりつつあります。

また、我が国の住宅は諸外国に較べて寿命が短く、このことが資源やエネルギーの無駄遣い、ひいては地球環境にも悪影響を与えています。このため、これからは質の高い住宅を建て、適切に維持管理しながら長期間にわたって快適な住まいとして使っていくことが大切であり、その実現のためにも確かな技術・技能を持った大工技能者が必要となっています。

一般社団法人大工育成塾が実施する大工育成塾は、このような時代の要請に応えるものです。各分野の第一人者が大工育成塾のために執筆した20冊を超えるテキストを使った講義、高い技術・技能を持った指導棟梁による実技指導など、大工を目指す若者のための効果的な育成プログラムも高く評価できます。次代を担う若き大工技能者「大工志」の育成を国土交通省も応援します。

今、なぜ大工育成塾なのか。

よい住まいとは、家族の幸せの容れ物です。

住まいは、ひとが生まれて、育って、暮らすもの。

そこは人格形成の場所でもあります。

家直しは、人直し。家づくりを通して人づくり、国づくりを
することでもあるのです。

日本の伝統家屋には、それがあります。

住宅が不足していた戦後50年は、早く・安くつくることが優先され、

伝統的な木造建築は、なかなか評価されにくい環境にありました。

しかし、時代は今、大きく変わりつつあります。

今こそ、日本の伝統構法である、木造建築を蘇らせる時なのです。

我が国の職人文化・もの作り文化が生んだ伝統木造建築。

その長所を現代の住まいに活かすことにより、日本の伝統文化の継承を図ります。

日本の伝統文化の再生を担うのが、ここで学ぶ大工です。

大工は住まいづくりの志士です。

私が目指しているのは、家づくりを通しての人づくりです。

この塾で、棟梁から技と精神を学んでください。



大工育成塾塾長
松田 妙子

工学博士
(財)住宅産業研修財団理事長
(財)生涯学習開発財団理事長

昭和39年 日本ホームズ(株)を設立。
昭和52年 (財)住宅産業研修財団を設立。
昭和61年 (財)生涯学習開発財団理事長に就任。
昭和62年 藍綬褒章受章。
平成15年 大工育成塾を開塾。



塾生は3年間の教室講義と現場修業で学ぶほかに、各地域や学年を超えて、ともに技術を切磋琢磨しあえる学外実習などのプログラムが企画されています。

■大工実技の実演と実技新抄試験「腕比べ」(実技研修) ■3年生全員による修業の集大成「修了制作」

桂組 第8期修了生に聞く

棟梁はとてもパワフルな熱い人です。いつもは優しいですが、自分が仕事でミスをした時などには厳しいです。職場はいつも綺麗に片付いていて、「道具を大切にしないと腕も上達しない」と言われています。将来は仕事をテキパキと出来る大工になりたいと思っています。



修行を積む中で、釘の頭が見えないような物づくり、鉋削りにも自信を持つことが出来ました。自分の成長過程を日々感じながら修行に取り組む事が出来るこの環境に感謝したいです。将来は、誰が見ても文句を言われない仕事出来るようになりたいと思っています。



棟梁からは道具や材料を大事にすること、礼儀正しくする事を教わっています。現場では、まだ簡単な仕事しか任せてもらえませんが、それでも積極的に仕事を貰いに行くようにしています。同期の仲間から刺激を受けつつ修行を続け、将来は金額以上の満足を与えられる様な大工が目標です。



棟梁は普段怖いですが、とても的確に指導してくれます。技術的なことでは、道具の研ぎ方から様々な事を学んでいます。得意な道具は鋸、苦手な道具は鉋です。今後は苦手な鉋を得意に出来るように修行をして、自分でも弟子が出来た時に恥をかかない様に頑張ります。



研修内容

■ 研修年限 3年で教室講義と現場修業が修了します。

■ 教室講義 地域の塾生が一堂に会して、塾のテキストを使いながら、大工技術・技能の修得に必要な心構え、知識、理論等を1泊2日の講義で学びます。

- ① 講義会場
東京、名古屋、大阪、福岡。今後、新たな会場が開設されることがあります。
- ② 講義日数
3年間で60日程度。金・土の集中合宿で効率的に学びます。
- ③ 講義の内容

区 分	第1学年	第2学年	第3学年
住宅の歴史と職人学	職人の手本		日本の住宅の歴史、職人学
大工知識	家づくりとは何か、住まいの設計－平面図と立面図、術語、寸法、道具、木材、木造軸組住宅の施工の順序	木造軸組住宅の施工の順序Ⅱ、術語Ⅱ、道具Ⅱ、木材Ⅱ、日本の気候風土と住まい、住まいの設計、平面、立面	設計・製図、PC図面作り
大工技術	板図と木拾い、木割り、墨付け・規矩術・継手・仕口	板図と木拾いⅡ、木割りⅡ、墨付けⅡ・規矩術Ⅱ・継手・仕口Ⅱ	板図と木拾いⅢ、木割りⅢ、墨付けⅢ・規矩術Ⅲ・継手・仕口Ⅲ
建築基礎		住宅生産、構造力学と設計	住宅・建築法規、住宅環境・設備、住宅の防犯
教養	日本語の常識一般教養、礼儀作法	茶道	柔らかな頭が基本、(大工の心得)華道・室礼等から室礼、遠読法
特別講義等	オリエンテーション、特別講義(伝統木造建築概論)、デッサン		ブレインストーミング
実習講義	腕比べ(実技研修)	腕比べ(実技研修)	実技研修、修了制作

※教室講義科目は変更されることがあります。

- ④ 講師
伝統木造建築に関する知識と豊富な経験をもった棟梁、学識経験者等が教えます。

■ 現場修業 一人の棟梁が一人の塾生を3年間、指導します。

- ① 受入工務店
修業経験のある優れた棟梁と現場修業に適した住宅建設現場を有し、適切な安全管理を行っている工務店の中で、原則として塾生の居住地に最も近いものが受入工務店となります。
- ② 現場修業の実施日
現場修業は、教室講義の日及び受入工務店の休日を除き、原則として毎日行います。

■ 授業料 1年次50万円、2年次40万円、3年次30万円です。



教室講義用の教科書

教科書はすべて、大工育成塾の教室講義のためだけに編集制作されました。左にテキスト頁、右に書き込み頁をもうけることで、修了時には自分だけの一生の教科書となるように工夫されています。



教室講義

理論も学ぶことで技術の習得を助けます。教室講義は集中合宿で実施され、塾生同士が親睦を深めます。



3年間の修業の修了時に配られる「大工志心得」

「大工育成塾」塾生募集の概要

■ 募集人員

100名(毎年4月入塾)

■ 応募資格

伝統木造建築に関する大工技術・技能の継承を志す者で、以下に該当する者。性別は問いません。

- ① 入塾時の年齢が原則として18歳以上25歳以下であること。
- ② 伝統木造建築の木工事の実務経験がないこと。
又は実務経験が2年以下であること。
- ③ 健康であること。
- ④ 未成年者の場合は、親が入塾に同意していること。

■ 応募手続

入塾希望者は、別紙の入塾説明会申込書(コピーで可)に、氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、出身校、入塾希望理由、どこで大工育成塾を知ったか、説明会同行者の有無を明記の上、指定の締切り日までに郵送又はファックスで最寄りの塾に説明会申込みを行って下さい。

入塾出願は、説明会開催後に行っていただきます。

※説明会申込書を郵送する場合は、封筒に「大工育成塾入塾説明会申込み」と明記して下さい。

■ 選考

入塾者の選考は、書類審査、適性試験、面接等によって行います。面接等の日程及び会場はあらためてお知らせします。

■ 塾所在地

東京塾 / 〒105-0001 港区虎ノ門1-1-21
新虎ノ門実業会館2階

一般社団法人 大工育成塾 本部
Tel : 03-3504-6604
Fax : 03-3508-4777

名古屋塾 / 〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26
昭和ビル9階

一般社団法人 大工育成塾 名古屋事務所
Tel : 052-238-5626
Fax : 052-238-5628

大阪塾 / 〒541-0048
大阪市中央区瓦町4-5-9
井門瓦町ビル3階

一般社団法人 大工育成塾 大阪事務所
Tel : 06-6208-6030
Fax : 06-6208-6031

福岡塾 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前
2-12-12 第5グリーンビル4階

一般社団法人 大工育成塾 福岡事務所
Tel : 092-477-5561
Fax : 092-477-5505

※入塾希望者の多い地域で新たに開塾することがあります。

大工育成塾の詳細については下記のホームページをご覧ください。

<http://www.daiku.or.jp>



大工育成塾とは

大工育成塾は、次世代を担う大工技能者育成を目的として平成15年度にスタートしました。日本の職人文化・もの作り文化の再興を担う人材を育成するための国家プロジェクトとして、国土交通省が支援し、一般社団法人大工育成塾が運営するものです。

大工職人 育成の方法

塾生が集合して行う「教室講義」と、受入工務店の指導棟梁による個別の「現場修業」を通じて、大工に必要な知識と、技能・技術の両面の研修を行います。

塾生受入 工務店

伝統木造建築を次世代に残したい、自分の技術を若者に伝えたい、そんな意欲的な棟梁・工務店が参加しています。受入工務店は一般社団法人 大工育成塾と委託契約を交わし、塾生を受入れ、実技指導を行います。

〈国家プロジェクト 大工育成塾 6期・7期修了生〉

大工志(櫟・桐組)



〒105-0001 港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館2階
一般社団法人 大工育成塾 本部
Tel:03-3504-6604 Fax:03-3508-4777
<http://www.daiku.or.jp>

